

リーディングDXスクール事業【実践事例】

岡山市立岡山中央小学校（岡山県）【指定校】

【取組内容】 課題意識をもち、自ら課題に挑戦できる児童の育成



取組の内容や工夫点

5年生の社会「私たちの生活と環境」の実践である。

災害の画像から児童が「災害を防ぐための取組は十分か」という学習課題をつかみ、調べていく過程で、児童一人一人がまとめる方法（端末かノートか）を選択し、課題解決を図っていった。自分の意見をもった上で友たちと話し合うことで自分の考えを広げたり深めたりすることができるように授業構成を考えた。



児童・教職員の変容

教師が教師用端末で確認しながら机間指導をすることで、児童一人一人の学習状況を把握した上での声掛けが実現している。

児童は友だちと話すことはもちろん、教師からの的確な助言をもとに自らの課題に挑戦することができるようになった。

また、端末の活用により、他の児童の学習内容を参考に、自分の考えに修正や追加をしている。